

東北大学コアファシリティ統括センター（CFC）主催 ハラスメント研修参加報告

技術第3班 伊藤 眞子

1. 目的

本研修会は、東北大学コアファシリティ統括センター（CFC）が主催となり実施された。東北大学CFCは研究施設・機器や設備の維持とそれを運営する人材を一体的に管理し、これまで以上に高度で効率的な研究を推進する体制を構築するために2021年10月に設置された。共用体制を強化するとともに、その体制を支える人材の体系的な養成を進めるためにオンライン及び対面での研修を積極的に取り入れている。なお、本研修会の受講者は103名（東北大学約70名、東北大学以外約30名）であった。研修後、鶴岡高専 教育研究技術支援センターにおいても人材の養成を進めるために東北大学CFCが主催する研修会との連携について担当者と打ち合わせを行った。

2. 期間と会場

期間：令和5年2月6日（月）13：30～15：00

会場：オンラインによる実施

3. 内容

【講師】

黒沢 一 先生

東北大学医学系研究科産業医学分野教授
統括産業医

【講義内容】

タイトル

「大学におけるハラスメントの基礎知識」

概要

大学におけるセクハラ・パワハラ・アカハラのニュースが絶えない。発言、身体接触だけではな

く、現代ではSNSでの書き込みも含まれる。その他の様々なハラスメント類型も問題となっている。また、大学では通常の職場に比べて、ハラスメントが起きやすいほか、教職員だけでなく学生にも深刻な被害を与える可能性がある点、注意が必要である。その様な大学のハラスメントにおける基礎的な事項について理解を深める。

4. 研修会に参加して

当研修会はオンラインで実施されたが、先方のご厚意もあり、来年度の研修会における協力体制の打ち合わせも含めて対面で参加をさせて頂いた。ハラスメント研修では、具体的な事例と解決方法を数多く聴講することができた。技術職員ならではの内容が多く、いかに技術職員という立場がハラスメントを受けやすく、または与えやすい繊細な職であるかを改めて再認識することができた。特に大学という場所は多様な立場の方が存在するので、今後も気を引き締めて業務にあたっていきたいと思う。

東北大学CFCの取り組みを説明していただき、縦割りの業務を取り払い横のつながりを強化している展開状況や、人材育成を強力に推進している旨を肌で感じる事ができた。ハラスメント研修受講の他に、もう一つの目的である人材育成のための令和5年度の東北大学CFCと連携した鶴岡高専 教育研究技術支援センターにおける研修会への参加について、オンラインで2つ、対面で1つについて具体的に話を進めることができた。

今回お世話になった東北大学CFCの皆様、貴重な研修会と打ち合わせを有難うございました。